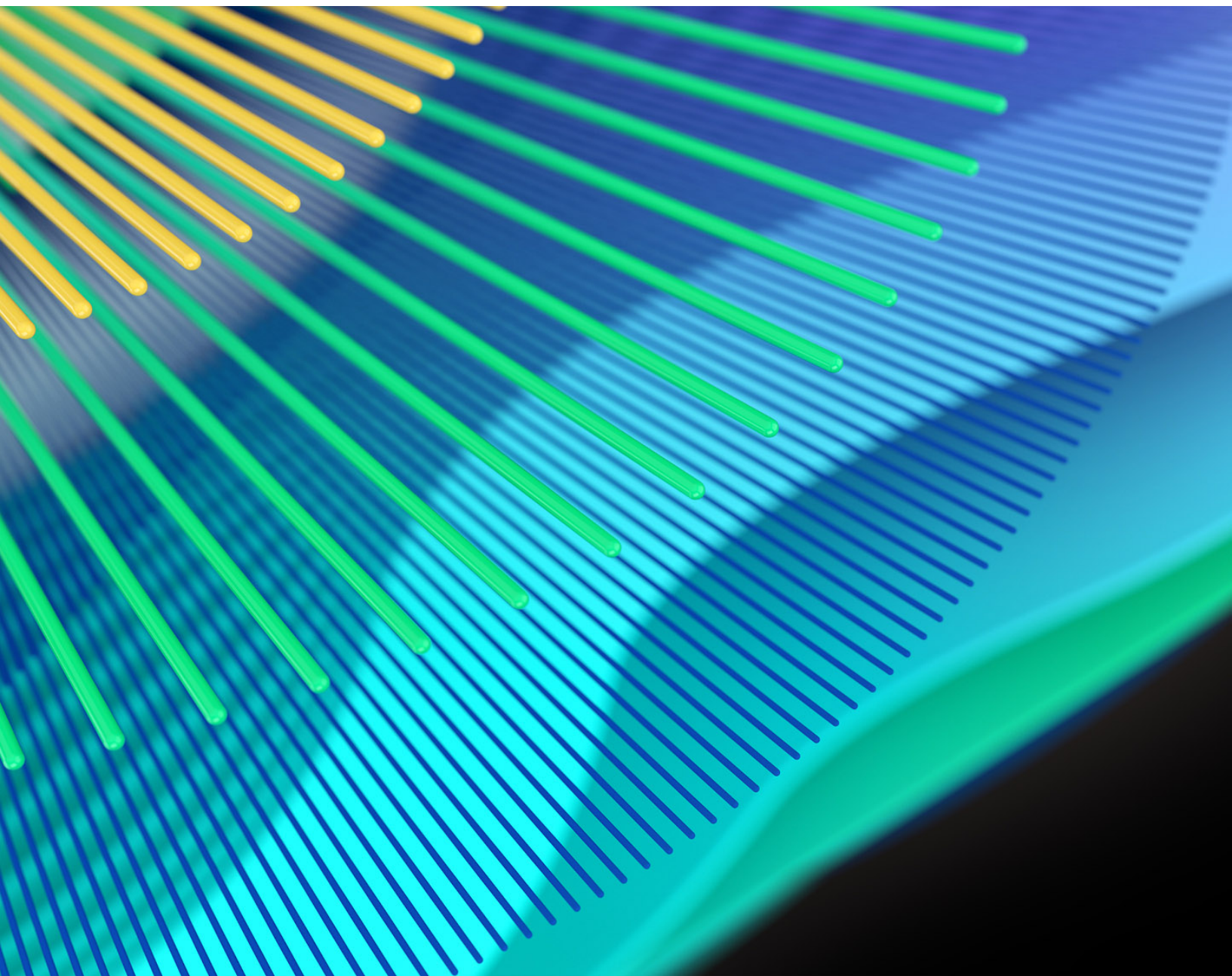


ScholarOne Manuscripts リリースノート

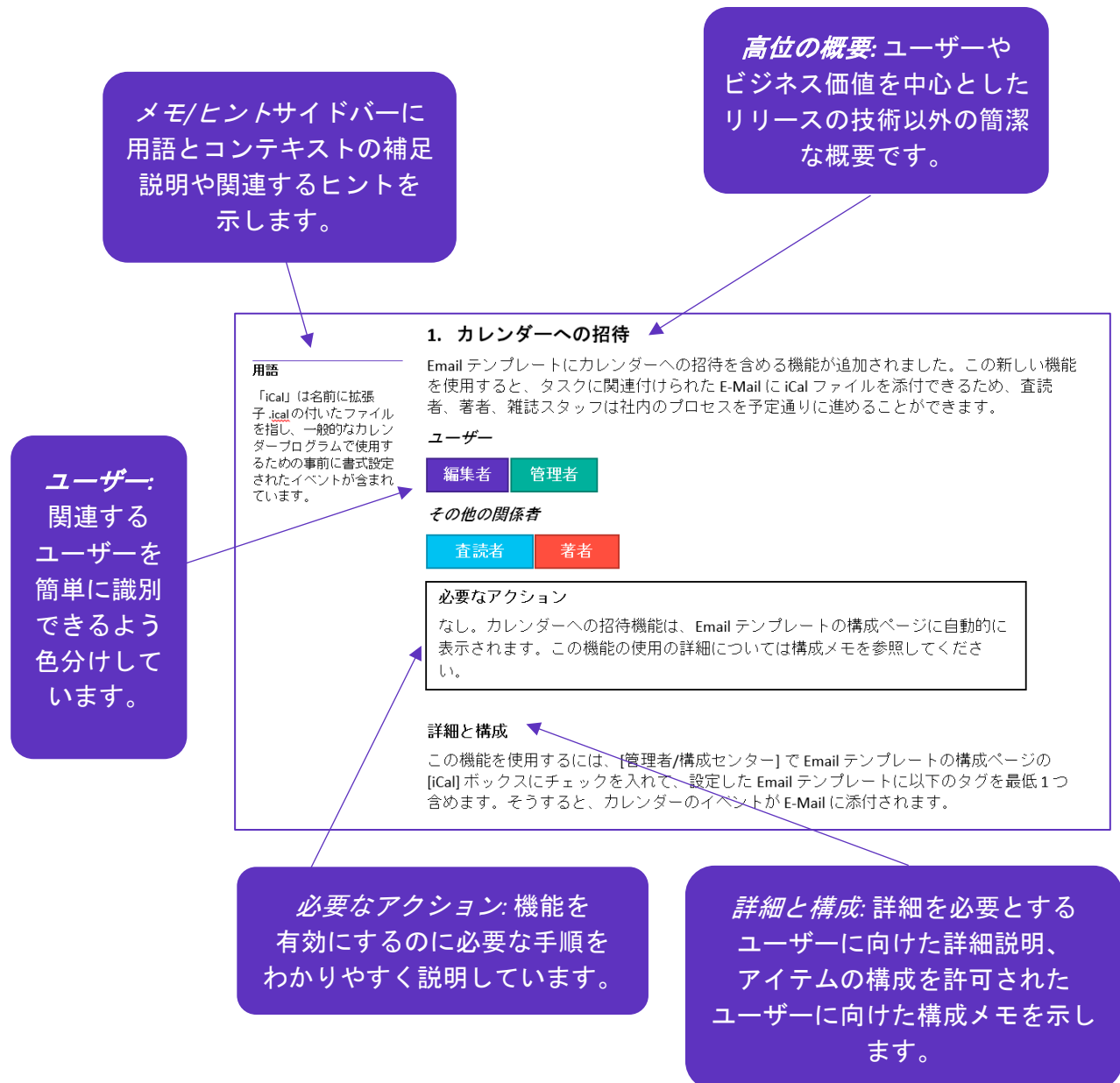
リリース v4.25.1

2019 年 9 月



新しい書式の紹介

このリリースでは、新しいテンプレート、スタイル、タグ、および製品アップデートの通知方法について説明します。以下の新しいリリースノートの書式のサンプルをご覧ください。ご感想やご意見を s1updates@clarivate.com までお寄せください。



概要

ScholarOne 製品チームはセキュリティ、パフォーマンス、ユーザーエクスペリエンスの継続的な改善に積極的に取り組んでいます。以下では、このリリースにおけるプラットフォームとツールの主な改善、不具合の修正と最適化について説明します。

また、デフォルトの構成値に関する情報と各機能の構成手順も示します。ユーザーが新しい機能を利用する場合、管理者または ScholarOne の担当者が有効にする必要がある機能もあります。許可や構成に関するご質問は、サポートチームにお問い合わせください。

ワークフローの変更は影響するすべてのユーザーに伝えてください。

このリリースに記載された事項に関するご質問は、ScholarOne 製品サポート (s1help@clarivate.com) にお問い合わせください。

リリース 4.25.1 で改善された機能

1. カレンダーへの招待

Email テンプレートにカレンダーへの招待を含める機能が追加されました。この新しい機能を使用すると、タスクに関連付けられた E-Mail に iCal ファイルを添付できるため、査読者、著者、雑誌スタッフは社内のプロセスを予定通りに進めることができます。

ユーザー

編集者

管理者

その他の関係者

査読者

著者

必要なアクション

なし。カレンダーへの招待機能は、Email テンプレートの構成ページに自動的に表示されます。この機能の使用の詳細については構成メモを参照してください。

詳細と構成

この機能を使用するには、[管理者/構成センター] で Email テンプレートの構成ページの [iCal] ボックスにチェックを入れて、設定した Email テンプレートに以下のタグを最低 1 つ含めます。そうすると、カレンダーのイベントが E-Mail に添付されます。

用語

「iCal」は名前に拡張子 .ical の付いたファイルを指し、一般的なカレンダープログラムで使用するための事前に書式設定されたイベントが含まれています。

E-Mail テンプレート	デフォルト	iCal	有効	編集	削除
必須 ⓘ ハイパーリンク E-Mail (論文内) - テンプレートの追加					
Hyperlink E-Mail (From Within Mss Details)	☐	☐	☒		
必須 ⓘ ハイパーリンク E-Mail (論文外) - テンプレートの追加					
Hyperlink E-Mail (From Outside Mss Details)	☐	☐	☒		
必須 ⓘ ハイパーリンク E-Mail (著者用)					
Author Template	☐	☐	☒		
必須 ⓘ ハイパーリンク E-Mail (査読者用)					
Reviewer Template	☐	☐	☒		
					保存

[iCal] のイベントをエンドユーザーのカレンダーに保存すると、終日透明なイベントとして表示されます（ユーザーは予定がないものとして表示されます）。締め切りの 12 時間前と 6 時間前にリマインダーアラートが送信されます。複数のタグが含まれている場合、エンドユーザーに対して複数のイベントが生成されます。

タグの詳細とイベントのコピーの書式については、以下で詳しく説明します。

1. 使用するタグ = ##著者_期限_日付##

- iCal の件名: [E-Mail の件名と同じ]
- 添付ファイル名: 著者の期限<雑誌名>（雑誌名のスペースにはアンダーバーを使用）
- iCal の本文:
作業の期限が近づいています。以下のサイトにログインして作業を完了してください。
雑誌名: <雑誌名>（スペースにはアンダーバーを使用）
雑誌の URL: <雑誌の URL>（スペースにはアンダーバーを使用）
論文のタイトル: <論文のタイトル>（スペースにはアンダーバーを使用）
論文 ID: <論文 ID>（スペースにはアンダーバーを使用）

2. 使用するタグ = ##レビュー_作業_日付_期限##

- iCal の件名: [E-Mail の件名と同じ]
- 添付ファイル名: レビュー期限<雑誌名>（スペースにはアンダーバーを使用）
- iCal の本文:
作業の期限が近づいています。以下のサイトにログインして作業を完了してください。
雑誌名: <雑誌名>（スペースにはアンダーバーを使用）
雑誌の URL: <雑誌の URL>（スペースにはアンダーバーを使用）
論文のタイトル: <論文のタイトル>（スペースにはアンダーバーを使用）
論文 ID: <論文 ID>（スペースにはアンダーバーを使用）

3. 使用するタグ = ##作業_日付_期限##

- a. iCal の件名: [E-Mail の件名と同じ]
- b. 添付ファイル名: 作業期限<雑誌名> (スペースにはアンダーバーを使用)
- c. iCal の本文:
作業の期限が近づいています。以下のサイトにログインして作業を完了してください。
雑誌名: <雑誌名> (スペースにはアンダーバーを使用)
雑誌の URL: <雑誌の URL> (スペースにはアンダーバーを使用)
論文のタイトル: <論文のタイトル> (スペースにはアンダーバーを使用)
論文 ID: <論文 ID> (スペースにはアンダーバーを使用)

4. 使用するタグ = ##スタブ_投稿_期限_日付##

- a. iCal の件名: [E-Mail の件名と同じ]
- b. 添付ファイル名: 著者の期限<雑誌名> (雑誌名のスペースにはアンダーバーを使用)
- c. iCal の本文:
作業の期限が近づいています。以下のサイトにログインして作業を完了してください。
雑誌名: <雑誌名> (スペースにはアンダーバーを使用)
雑誌の URL: <雑誌の URL> (スペースにはアンダーバーを使用)
論文のタイトル: <論文のタイトル> (スペースにはアンダーバーを使用)
論文 ID: <論文 ID> (スペースにはアンダーバーを使用)

5. 使用するタグ = ##トピック_投稿_期限_日付##

- a. iCal の件名: [E-Mail の件名と同じ]
 - b. 添付ファイル名: トピックの期限<雑誌名> (雑誌名のスペースにはアンダーバーを使用)
 - c. iCal の本文:
作業の期限が近づいています。以下のサイトにログインして作業を完了してください。
雑誌名: <雑誌名> (スペースにはアンダーバーを使用)
雑誌の URL: <雑誌の URL> (スペースにはアンダーバーを使用)
論文のタイトル: <論文のタイトル> (スペースにはアンダーバーを使用)
論文 ID: <論文 ID> (スペースにはアンダーバーを使用)
-

ヒント

ログインの問題対応を強化するために、雑誌のログインページにオプションのテキストを提案しています。詳細については s1updates@clarivate.com にお問い合わせください。

2. パスワードフィールドの改善

パスワードの更新と保存のプロセスを簡略化するために、ユーザーは新しいパスワードをコピーして [新しいパスワードの設定] ページの両方のパスワードフィールドに貼り付けることができるようになりました。この変更は、パスワードマネージャーツールで ScholarOne のログインページのフィールドに自動入力するときにも役立ちます。

ユーザー

すべて

必要なアクション

なし。この機能は自動的に導入されます。

3. Submission Prefill ツールベータ版の改善

V4.25 でリリースされる Submission Prefill ツールは現在も開発が続けられていますが、今回のリリースでは、既存のアカウントに接続すると著者と共著者の情報が事前に入力される機能、機関のリンクの改善（機関の住所の各行が別の入力と判断される問題を修正）、取り込んだ著者情報が既存のアカウントの著者情報と異なる場合にアラートを表示する機能が追加されています。このツールは v4.26 で正規のリリース（ベータ版ではない）を提供できるよう改善が続けられます。

ユーザー

著者

必要なアクション

なし。すべての改善は自動的にツールに組み込まれます。この新機能の使用に関するフィードバックを s1help@clarivate.com までお送りください。

詳細と構成

このツールを強化する AI の継続的な改善に加え、このリリースでは以下のような改善が行われています。

- 既存のアカウントに接続したときに著者と共著者の情報を事前入力
 - ユーザーが自分の E-Mail アドレスを含めると、その E-Mail アドレスがサイトに存在するアカウントに関連付けられている場合はそのユーザーのアカウントによって著者が入力されます。また、
 - アップロードした論文に共著者の ORCID iD を含めると、その ORCID iD が雑誌に存在するアカウントに関連付けられている場合はそのユーザーのアカウントによって著者が入力されます。

用語

「ベータ」とは、製品はほぼ完成しているものの開発が続けられているソフトウェア開発の段階を指します。ベータ版は、最終版のリリース前にユーザーのフィードバックを収集するためにリリースされます。Submission Prefill ツールと文書分析ツールの場合、ベータ版はユーザーとの相互作用を通して各機能の AI を強化することを目的としています。

• 機関のリンクの改善

- 機関の住所の各部分が別々の入力と判断されていた問題を修正しました。誤った情報の読み込みを減らすため、施設のデータ抽出について追加の作業を行いました。

• インポート/アカウント情報の不一致に関するアラート

- 読み込んだ著者の情報が既存のアカウントの情報と異なる場合、著者と共著者のページの上部にアラートが表示されるようになりました。このような不一致が存在する場合、読み込んだ情報が表示され、「注意: 下記の著者の情報を確認してください。表示された名前はアカウントの情報と異なる可能性があります。」というアラートが表示されます。

リマインダー

Submission Prefill ツールとドキュメント分析ツールのベータ版は 4.25 のリリースで追加され、デフォルトでは無効に設定されています。これらのツールの有効化や詳細についてはサポートにお問い合わせください。

ドキュメント分析ツールベータ版の改善

V4.25 で追加されたこのツールを使用すると、著者と編集者は AI ツールで論文のキーセンテンスとキーワードを確認できます。また、著者は雑誌に合わせて投稿を修正でき、雑誌は受信した投稿が雑誌に適しているか確認できます。査読者に投稿を提供する前に論文/雑誌の適合性を確保できるため、投稿とピアレビューの時間が短縮されます。4.25.1 でツールとコピーのバックエンドで多様な機能強化を行った結果、ツールの品質が向上しました。

4. 中国語と日本語のフォントの改善

変換システムによる中国語と日本語のフォントの表示を改善するために、多数のフォントを追加して置換の質を向上させました。これらの新しいフォントは中国語と日本語のフォントで使用される間隔に準じているため、PDF にしたときに行の長さに統一感があります。

ユーザー

すべて

必要なアクション

なし。フォントは投稿のフォントに基づいて自動的に変換されます。

詳細と構成

変換システムに追加されたフォントは以下のとおりです。

- SongTi
- Fang Song Ti
- MingTi
- HeiTi
- KaiTi
- 明朝体
- MS 明朝
- MS P 明朝
- 游明朝レギュラー
- 游明朝デミボールド

- 游明朝ライト
- ゴシック体
- MS ゴシック
- MS P ゴシック
- 游ゴシックレギュラー
- 游ゴシックライト
- 游ゴシックミディアム
- ヒラギノ角ゴシックプロ
- メイリオ

5. ユーザーアカウントの変更に関する通知の追加

外部/発行者のプラットフォームで最新の状態を維持して GDPR に準拠するために、ユーザーアカウントのレベルに API の通知を追加し、ユーザーアカウントの変更または削除について外部システムに警告できるようになりました。

ユーザー

編集者

管理者

必要なアクション

これらの通知を受信するには、ScholarOne Web Services クライアントである必要があります。サポートに連絡して、自分のアカウントの通知を有効にして設定してもらいます。

詳細と構成

これらの通知は ScholarOne Web Services プラットフォームの機能に含まれ、統合された外部システムに ScholarOne アカウントの変更をリアルタイムで同期できます。変更には名前、E-Mail アドレス、所属機関の更新などが含まれます。また、ScholarOne の GDPR 準拠プラットフォームを使用してアカウントが削除された場合に即座に外部システムに通知されるよう、アカウント削除専用の通知を追加しました。

6. プルーフでの文章ベースのタグの改善

ScholarOne v4.24 では、プルーフでの文章ベースのタグが追加され、雑誌はオプションで論文プルーフに対するカスタム質問の回答を追加できるようになりました。このリリースでは、ScholarOne の機能が改善されて投稿グループごとに独立して構成できるようになりました。

編集者

管理者

必要なアクション

なし。[投稿の構成] ページの特定の投稿グループでこのオプションが使用できるようになりました。（注意: クライアント/完全な構成の許可が必要です）

詳細と構成

プルーフでの文章ベースのタグに関する前の文書は、[v4.24 リリースノート](#)をご覧ください。

主な問題修正と機能の最適化

メモ

ScholarOne では、ユーザーがプラットフォームを常に改善できるよう、次回のリリースまでの間に多数のパッチとホットフィックスを提供しています。その多くは社内チームのプロセスの最適化を目的としているため、ワークフローには影響しません。これらの変更に関するご質問はサポートにお問い合わせください。

- **論文詳細検索でカスタム質問の検索に対応**
 - 論文詳細検索の問題を解決し、ユーザーが決定フォームのカスタム質問に対する回答に基づいて論文を検索できるようになりました。
- **投稿者の E-Mail タグの追加**
 - 新しい E-Mail タグ ##人のロール_投稿_著者_E-Mail## を作成しました。これによって論文の投稿者の E-Mail アドレスに解決されます。ScholarOne では、投稿者とは草稿として投稿を開始し、その完成に責任を負うユーザーのことです。このタグによって、その役割を担当する著者とのコミュニケーションが簡略化されます。
- **Chrome ブラウザでの会話ツールの表示の改善**
 - Chrome ブラウザでの会話ツールの表示に影響するワードラップの問題を修正しました。
- **パスワードリセットワークフローの機能の追加**
 - ORCID SSO が有効になっているサイトのプロセスを解決したため、[パスワードのリセット] 画面で Enter キーを押したときに ([続行] の逆) エラーが表示されなくなりました。

今後のリリース

リリース日は変更されることがあります。

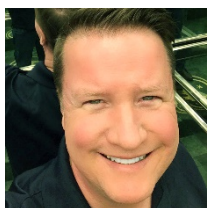
- **スタブ投稿日の延長**
 - 査読者が延長するとスタブ投稿期限が同じ日付に変更される問題を修正します。
 - 予定されるリリースと時期: v4.26、2019 年第4 四半期
- **文書分析の新しいウィジェット**
 - [文書分析] 画面に2つのウィジェットを追加します。
 - 予定されるリリースと時期: v4.26、2019 年第4 四半期
- **既存の住所情報が保持されるよう Ringgold を改善**
 - 接続されていない Ringgold のエントリをユーザーや管理者が更新しても住所が自動的に削除されないようにします。
 - 予定されるリリースと時期: v4.26、2019 年第4 四半期

著者



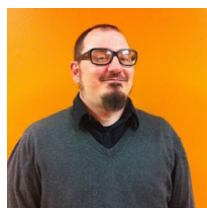
Chris Heid

Product Lead, Publishing & Associations (製品リード、公開および関連事項)



Greg Kloiber

Sr. Product Manager、ScholarOne (ScholarOne シニアプロダクトマネージャー)



Sven Molter

Product Manager、ScholarOne (ScholarOne プロダクトマネージャー)



Stephanie Lovegrove

Digital Engagement & Content Manager (デジタルエンゲージメント/コンテンツマネージャー)

詳細のお問い合わせ先

ScholarOne 製品サポート
s1help@clarivate.com

電話番号: 888 503 1050 (米国) または
0800 328 8044 (英国)
月曜日午前 00:00～金曜日午後 8:30 (東部標準時)

webofsciencegroup.com

Web of Science Group について

Clarivate Analytics の Web of Science Group が管理する世界の研究情報は、研究を加速するために多様な学界、企業、出版社、政府に利用されています。また、そのために出版社に中立な世界最大のサイテーションインデックスとリサーチインテリジェンスのプラットフォームである Web of Science が活用されています。そのほかにも、Converis、EndNote、Kopernio、Publons、ScholarOne、Institute for Scientific Information (ISI) などの有名ブランドを提供しています。Web of Science Group の「大学」である ISI はインデックス、関連情報、分析コンテンツ、サービスを構築する基盤となるナレッジコーパスを管理し、イベント、会議、出版物を通して外部にその知識を広め、調査を実施してナレッジベースの維持、拡張、改善に努めています。詳細については webofsciencegroup.com をご覧ください。

© 2019 Clarivate Analytics. All rights reserved. Clarivate Analytics から書面で事前に同意を得ずに構成などの手段によって Clarivate Analytics のコンテンツを再発行または再配布することは禁止されています。Web of Science Group とそのロゴ、および本文書で使用されている他のすべての商標はそれぞれの所有者の商標であり、ライセンスに基づいて使用されています。